

8月2日(水)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ 日刊サマ-ミュザ

Hobo Nikkan Summer Muza



8/1 読売日本交響楽団

ヴァイグレ & 読響の 超弩級ホームラン!

サマ-ミュザ初登場となる読売日本交響楽団の常任指揮者、セバスティアン・ヴァイグレが放った超弩級のホームラン! —思わずこんな快哉を叫びたくなったのが、この日のメインであるワーグナーの演奏だった。

上演に15時間を要する楽劇『ニーベルングの指環』を、オランダの打楽器奏者デ・フリーヘルが1時間ほどに編曲した「オーケストラ・アドヴェンチャー」は、いわば歌のないオペラだ。

フランクフルト歌劇場の音楽総監督を長らくつとめ、世界各地のオペラハウスで活躍するヴァイグレのまさに本領発揮、ワーグナーが登場人物や状況などの設定を旋

律にしたライトモチーフを、理想的な響きで私たちに示し、オペラ愛好家にとっては『指環』の名場面が目につかぶような、初めて聴く人にとっては大仕掛けのゲーム音楽のような巨大な世界を、ミュザの空間に創り上げたのである。

圧巻だったのは第8曲「ジークフリートの英雄的行為」で角笛を模したソロを聴かせたホルン首席の松坂隼だ。聴衆も、舞台上のメンバーも息を呑むようなこの名人芸が読響に火を付け、オーケストラの響きはさらに厚みを増している。

クライマックスを経て静かに曲が閉じられ、ヴァイグレのタクト

が降りるまで長い静寂がホールを包み、感極まったようなブラボーの声をきっかけに地鳴りのような拍手と歓呼の音が沸き起こったのは、真に感動的だった。

前半に12型で演奏されたベートーヴェンの「交響曲第8番」も、作品の持つ和声やダイナミクスの変化を見事に聴かせた秀演で、ヴァイグレと読響のコンビが黄金時代にあることを強く感じさせた。ブラボー!

(岩野裕一/音楽ジャーナリスト)



プレトークの様子



左：セバスティアン・ヴァイグレ(指揮)
右：松坂隼(ホルン)

ご来場者の声

セバスティアン・ヴァイグレさんと読響の壮大なオーケストラの響きに圧倒されました。新潟から聴きに来て、本当に良かったです。(40代・公務員・くじら)／あんなに楽しそうなヴァイグレさん初めてという愉快なベト8から、一転してオペラ音楽監督ならではの緊張感溢れる圧縮版「指環」という組み立ての妙と、それをきっちり成立させる読響の技術と、ホルン松坂首席をはじめ随所を彩るソロ奏者の芸術等々、多くの要素が全体として噛み合った、記憶に残るコンサートでした。(50代・会社役員・トリフォニーからの遠征組)／ドイツ音楽を堪能しました。軽やかなベートーヴェンと、重厚なワーグナー、絶妙な組み合わせでした。(50代・主婦・かんみ)／前日にミュージア川崎のSNSで公演情報を知りました。家から近いし、チケットもお手頃だしとかなり気楽な気持ちで来ましたが8/1の指環、非常によかったです。壮大な演奏を真正面から浴びてクラシックのコンサートで泣いたのは初めてでした。あつという間で充実した時間でした。SNS見て本当によかったです。ありがとうございます。(30代・会社員・M)

【明日・明後日の朝刊休みます】明日・明後日(8/3,4)は休演日のため、本紙の発行もお休みさせていただきます。次号発行は8/5です。

Next!
サマ-ミュザ
次公演のチケット情報

子どもフェスタ2023 4歳から入場可能!
イツ・ア・ピアノワールド
8/5(土) 11:00 開演

(途中休憩なし、約60分) (10:15開場)
会場：ミュージア川崎シンフォニーホール
ピアノ：小川典子、田久保萌夏(ゲスト出演)

- エルガー：愛の挨拶
- ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第23番 『熱情』から 第1楽章
- クライスラー(ラフマニノフ編曲)：愛の喜び
- ラヴェル：ソナチネから 第1楽章
- ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー
- エルガー：威風堂々

Web予約
▶ 当日 9:00 まで
当日券カウンター
▶ 10:00 より

【料金】
大人 ¥1,500
子ども ¥500 (4歳~小学生)
ふたじょう かこ えんそう き
舞台上でピアノを囲むように演奏が聴けるよ!
※お子様のみ

真夏のバッハVIII
8/5(土) 17:00 開演

会場：ミュージア川崎シンフォニーホール (16:00開場)
出演者によるプレトーク (16:20~16:40)
※本公演と同じお席でお楽しみください。

- パイプオルガン/チェンバロ：大塚直哉
- ヴァイオリン：桐山建志、大西律子
- ヴィオラ：吉田篤
- チェロ：西沢央子
- コントラバス：栗田涼子
- オール・J.S. バッハ・プログラム

【料金】
全席指定 ¥4,000
U25 ¥1,500
Tel・Web予約 当日券カウンター
▶ 当日 15:00 まで ▶ 16:00 より

出張サマ-ミュザ@しんやり!
東京交響楽団
8/5(土) 17:00 開演 (16:15開場)

会場：昭和音楽大学 テアトロ・ジーリオ・ショウワ
(小田急線「新百合ヶ丘駅」南口より徒歩4分)

- 指揮：広上淳一
- ドリープ：バレエ組曲『コッペリア』
- ラフマニノフ：交響曲第2番 ホ短調

【料金】 ¥5,000 A¥4,000 B¥3,000
U25: 各席種半額
Tel・Web予約 当日券カウンター
▶ 8月4日までの販売 ▶ 16:00 より



広上さんからの
メッセージだトン!





名門ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団が 名匠ルイーゼと共に再び!

1888年に創設された世界最高峰のオーケストラのひとつロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団が名匠ファビオ・ルイーゼと共に11月3日(金・祝)ミュージザに帰ってきます。数々の名演を残してきたオーケストラとN響首席指揮者も務めるマエストロとの共演に期待が高まります。

川崎公演のメインプログラムは名曲「ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」」。数ある「新世界」の中でも最良の組み合わせの演奏である事は間違いないでしょう。文化の日(11/3)は是非、ミュージザ川崎シンフォニーホールで贅沢な時間と空間をご堪能下さい。コロナ後の新しい「生活様式」ならぬ、新しい「新世界」を発見できるかも。

そしてもう1曲、「ビゼー:交響曲第1番」を演奏します。ビゼーが歌劇「カルメン」で名声を得る前の作品。生前には演奏されることがありま

せんでしたが、世紀も変わり20世紀になって初演されます。それをきっかけに世界中で演奏される事となった名曲です。

(事業企画課H)



指揮：ファビオ・ルイーゼ



© SimonVanBoxtel

◆ ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団

11月3日(金・祝)17:00 開演

ビゼー：交響曲第1番 八長調
ドヴォルザーク：交響曲第9番 ホ短調「新世界より」

【料金】
S¥34,000 A¥28,000 B¥22,000 C: 完売 D: 完売

全59店舗

「お得にグルメを楽しもう」 PARTNER SHOP

サマーミュージザの公演会場で配布する「優待券」を提示すると、割引やお得なサービス等の特典が受けられます!

*サマーミュージザ期間(7/22~8/11)ならいつでも、何度でもご利用いただけます。



パートナーショップ一覧や特典詳細はこちらからチェック!

パートナーショップのご紹介 エンジョイ! 川崎!! Enjoy Kawasaki



【ランチ】海老と豆腐の塩味煮込み
999円(税込)

洗練された、ひと味違う中華? そう、中華!

少し急な階段を昇った先にある隠れ家的な中華料理店。店のこだわりが感じられるオリジナルティあふれる料理をいただけます。ランチ時間はいつも満席の超人気店。週替わりメニュー4種の他、サラダ・スープ・副菜・カレーなどがbuffetスタイルで提供されるので食べすぎ危険!でも、何を食べても美味しいので止められない。この日は「海

老と豆腐の塩味煮込み」をチョイス。海老と隠し味の生姜が効いた滋味深い塩味が、暑さに疲れた身体に染み込みます…。デザートは杏仁豆腐もお代わり自由。美味しい上にコスパが良すぎて心配になってしまうくらい。「出来れば秘密にしておきたい」くらいの名店だと私は思っています!(バラしちゃった。)(管理課・ふ)

中華菜館シノワ大久保

パートナーショップ特典 M 川崎駅西口周辺
ソフトドリンクサービス
※お食事ご利用のお客様に限り ※「優待券」持参者および同伴者

LINEスタンプ 好評発売中 (全16種・税込120円)



日刊サマーミュージザ はWebでも公開中!



フェスタサマーミュージザ公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/

#サマーミュージザ
#お待ちどうサマー♪
で検索 & 投稿
お待ちしております!



Twitter: @summer_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki



今年の夏、お揃いのポロシャツを着て走り回っている私は、サマーミュージザ一年生です。今日も「ドラマティック」な演奏会となるよう、スタッフとして頑張ります!(事業課Y)

さて昨晩は、読売日本交響楽団の「ベト8 & 指環」でした。指揮者ヴァイグレ氏と大編成オケの熱演に感激!透明感のあるサウンドから重厚なサウンドまで、ホール内に響いていました。

ほぼ日を手にとったお客様!ありがとうございます。サマーミュージザも残り半分となりました。魅力的な公演がまだまだたくさんあるので、ぜひ観に来てくださいな。

スタッフ日誌